

毎年多くのご協力をいただいている赤い羽根共同募金。みなさまの善意が、地域をささえる大きな力になっています。実際にどのように役立っているか、その一例をご紹介します。



募金活用例

『今日も来てよかった』地域の居場所。



一人暮らしの高齢者が増える中、「一日誰とも話さなかった」という人が珍しくありません。人とのつながりが減ることは、孤立や閉じこもり、心身の健康にも大きく影響するといわれています。

そんな地域課題に向き合うため、花園地区の民生委員・児童委員は20年以上にわたりサロン活動を続けています。ラジオ体操や、歌などのレクリエーションを通して自然に会話が生まれ、「ここへ来るのが楽しみ」という声が集まる、地域の大切な居場所となっています。

いきいきサロン花園民児協

日時：毎月第2・4水曜日 午後1時30分～3時
場所：神戸公民館

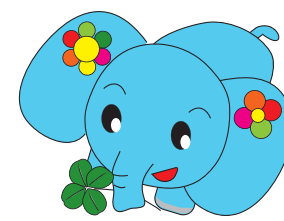


ふれあいいきいきサロン助成事業

歩いていける距離にある、地域の集いの場です。「人と話すことが好き」「コーヒーを淹れることが得意」「地域の方の笑顔が見たい」。市内に35か所あり、地域に住むボランティアが、それぞれの想いやできることを持ち寄って運営しています。このようなサロンの運営費(お茶やお茶菓子、レクリエーション用の消耗品等)として募金を活用いただき、地域の実情にあった居場所づくりを応援しています。



こちらからサロンの様子をご覧ください!



はなちゃん通信

256号

半田市社会福祉協議会だより

半田市の赤い羽根共同募金

八十年

ありがとう。これからも一緒に。



- ① 自分の住んでいるまち(半田市)を「良くする」ために使われます
- ② 半田市にお住まいのすべての人たちの暮らしのために役立てられます
- ③ 災害発生時は「災害ボランティアセンター」の運営費として使われます



半田市社会福祉協議会の公式LINEはこちら!!

ふくしや暮らしに関するさまざまな情報を配信しています。友達登録をお願いします!



社会福祉法人 半田市社会福祉協議会

半田市雁宿町1-22-1 瀬上工業雁宿ホール(半田市福祉文化会館内) TEL.0569-84-2324

この広報紙は共同募金の配分金により作成しています。 2026.10